

愛媛県の移住促進の取組み 地域版えひめ 移住コンシェルジュの活動報告

私は地域版えひめ移住コンシェルジュとして今年度より（公財）えひめ地域政策研究センター内「愛媛ふるさと暮らし応援センター」に配属されました。今回は私の主な活動内容について報告させていただきます。

普段は当センターにて、愛媛県への移住を受け付ける相談窓口として、移住希望者からの相談に対応させていただいております。ご相談はメールや電話等がメインとなりますが、ご相談内容は仕事、地域のことや支援制度についてなど様々です。その方の求める内容に応じて情報を提供したり、自治体や団体への取次ぎ、さらにはふるさと回帰支援センター（東京）に常駐しております松岡朋枝コンシェルジュとも連携しながら対応しております。今年度は東京や大阪を中心に県外で行われている移住フェアにも積極的に参加し、来場者に対して愛媛県の魅力のPRや移住を検討



移住フェアの様子

している方からのご相談受付を行っています。

ただ、移住相談を受けているとその理由も様々で、中には「なんとなく都会の生活が嫌で…」といった方も少なくありません。そのような方は、移住されても恐らくまた違う理由を見つけて新たな場所を探し続けるのではないのでしょうか。ご相談を受ける際、私は移住希望者のみなさんに必ず聞いていることがあります。それは、「あなたが移住先で何（どのような暮らし）をしたいか」ということ。即答できない方には「移住先で実現したいこと」をぜひ考えてみてください、とアドバイスしています。愛媛県に限らず移住するうえで大切なのは、「新たな場所で自己実現に向けて進む信念」です。移住には不安はつきものですが、それがあれば様々な問題も乗り越えられるはずですよ。

そして、移住促進でかせがないのが「定住支援」です。いくら一時的に移住者数を増やしても長く住んでもらえないと意味がありません。その施策の一つに「移住者交流会」があります。今年7月にトリアルとして行いましたが、参加者か



えひめ移住
コンシェルジュ
板垣 義男



移住者交流会の様子

らは「愛媛に来て間もないので不安だったが交流会に参加して様々な方と交流ができた」といった嬉しいお言葉も頂きました。今後も様々な地域で移住者交流会を開催していきたいと考えております。

また、「移住定住」というキーワードで外せないのが、地域おこし協力隊制度です。2009年に総務省によって制度化され、現在愛媛県では約60名の方が活動を行っています。今後はこの地域おこし協力隊のサポートをさらに強化していきたい、彼らの定住につなげていきます。また、地域おこし協力隊と連携をすることで、各地域の生の情報を共有し、新たな移住希望者に情報提供していけたらと考えております。

地方創生が叫ばれている昨今、移住希望者への丁寧な対応も大事ですが、なにより地域住民にとっても幸せに感じられる移住実現に向けて邁進していきます。